

# フードバレーとかちの施策展開

## ～戦略プラン～

平成24年3月

(令和元年5月変更)

フードバレーとかち推進協議会

目 次

1	フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）について	1
2	施策の取り組みの方向性	1
	「農林漁業を成長産業にする」	2
	「食の価値を創出する」	8
	「十勝の魅力を売り込む」	15
3	関係団体・機関の取り組み	21
4	フードバレーとかちの施策の進め方	29
5	参考資料	
	(1) 市町村の現状	31
	(2) 関係団体・機関一覧	53

# 1 フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）について

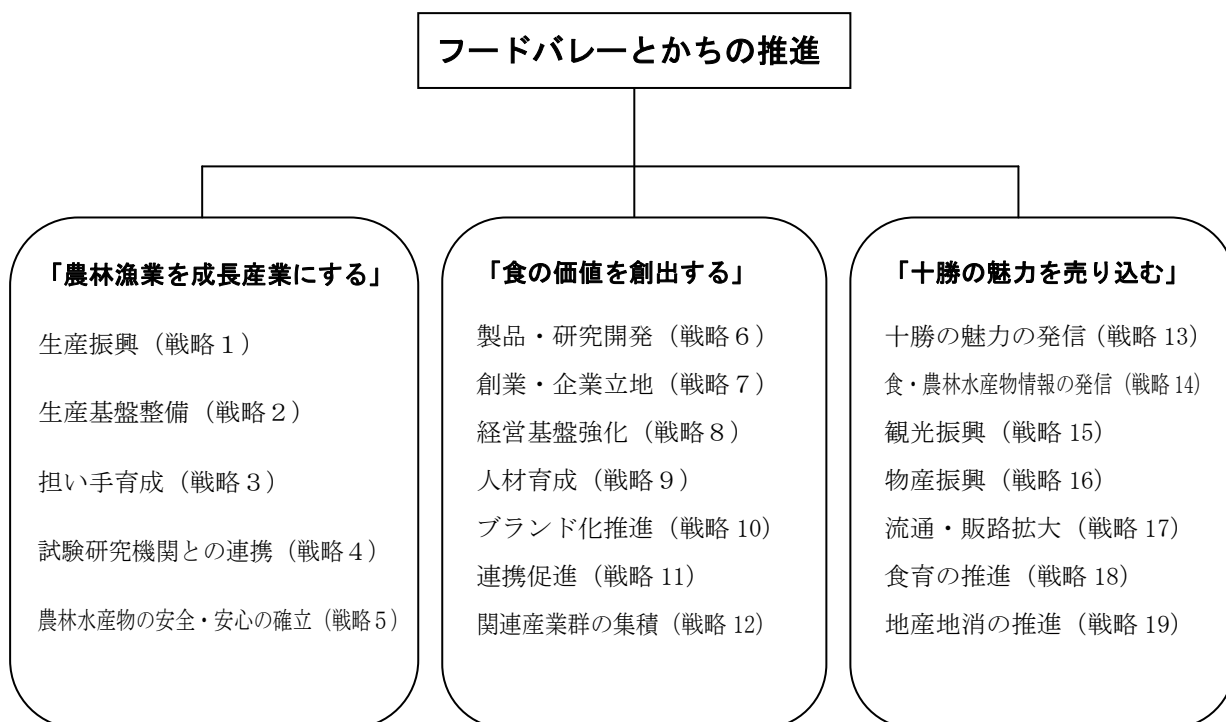
フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）は、フードバレーとかち推進プランの施策の柱立てに基づく施策の取り組みの方向性を示すものであり、経済状況や国等の動向などを踏まえ、十勝一体となってスクラムを組んで進めていきます。

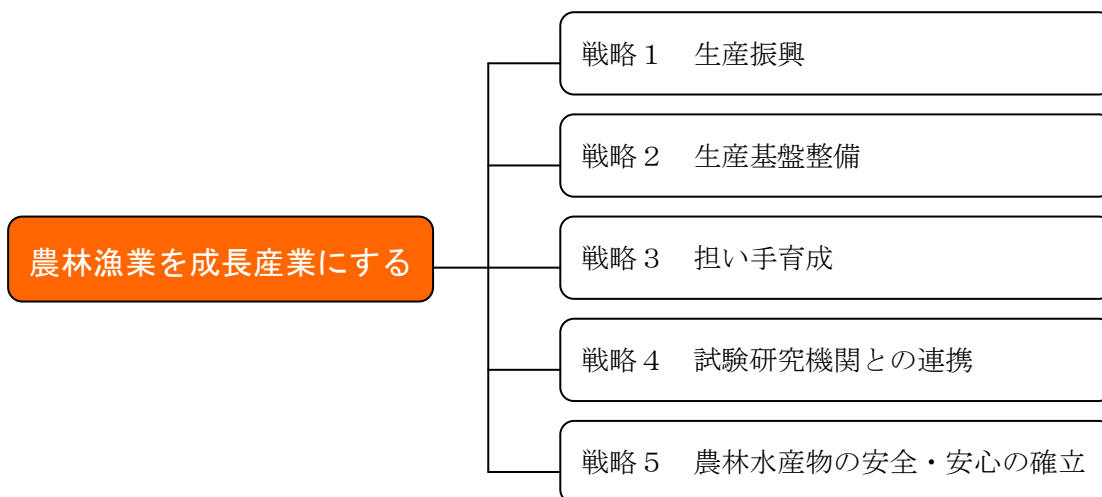
今後、この方向性に沿って、定住自立圏共生ビジョンに盛り込まれた関連事業や市町村が連携した取り組みを展開するとともに、フードバレーとかち推進協議会のプラットフォーム機能を活用し、生産者や企業などと連携しながら、域内・域外との多様な結びつきにより、「フードバレーとかち」を推進していきます。

これにより、十勝の食産業や農林漁業のさらなる発展と、食料自給率の向上などに貢献するとともに、わが国有数の食料地域としての役割や食料の生産・供給を通じて災害時のバックアップ拠点の役割を担うなど、食と農林漁業の集積拠点を目指します。

## 2 施策の取り組みの方向性

フードバレーとかち推進プランで示した施策の3つの柱立てに基づき、施策ごとの取り組みの方向性を示します。





## 戦略1 生産振興 ～食料生産力を伸ばす～

### 【現 状】

十勝の農業は、恵まれた土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業が展開されており、地域的には中央部では耕種の比率が高く、山麓部や沿海地域では酪農・畜産主体の経営になっています。十勝管内の農業協同組合はもとより、行政機関や農業改良普及センター、農業試験場等が連携しながら生産振興に取り組んでいます。

きのこや山菜などの特用林産物の生産は、生しいたけとわらび、ふきを中心に行われており、特にふきについては、北海道内の約3割を占め、足寄町の「螺湾（らわん）ブキ」は全国的に知られています。

漁業では、漁獲高の約3割を占めていたさけが減っていますが、まいわしの漁獲高が17%まで増加し、シシャモの水揚げは広尾町が全国1位になるなど、資源管理を行いながら沿岸漁業を中心とした生産が行われています。

### 【取組内容】

- 家畜排泄物や作物残さなどのバイオマスの利活用や土づくり等を進め、農薬や化学肥料の使用を低減するなど、環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業に取り組みます。
- 基幹的作物である小麦、豆類、馬鈴しょ、てん菜に加え、大規模畑作経営に適した新たな作目の導入や、多様化する消費者ニーズを踏まえた農畜産物の生産など、地域の実情に即した経営の多角化を進めます。
- 自給飼料生産の拡大と品質向上をはかるため、草地改良や栽培・収穫・調整技術の改善を進めます。
- 鳥獣による農作物被害を防止し、安定的な農業生産を行うため、市町村や関係機関と連携した鳥獣害防止対策に取り組みます。
- 水産資源の確保・増大に向けた栽培漁業を促進するため、漁業関係団体と漁業組合が相互に連携し、漁業資源や漁業の特性に合わせた稚魚等の放流、漁場の育成などを進めます。
- 森林の整備及び保全を進め、森林が有する多面的機能を発揮させるとともに、きのこ・山菜などの特産物の生産を振興します。

**【現 状】**

安全で良質な農産物を安定的に生産するための基礎となる農業生産基盤整備については、国や北海道、市町村などと生産者が連携し、排水整備、かんがい用水施設整備、暗渠排水整備、客土等の土層改良、草地整備等の土地改良事業が行われています。

また、漁業においては、重要港湾である十勝港や漁港の整備のほか、さけ・ますふ化施設やカレイ科マツカワの稚魚の中間育成施設など、水産基盤の整備が行われています。

**【取組内容】**

- 安全で良質な農林水産物を低コストで安定的に生産できるようにするため、国や北海道の制度を活用しながら、長雨やかんばつ、低温などの災害に強い農地の整備などの農業農村整備や治水などの取り組みを進めます。
- 関係機関や地域が連携し生産基盤の適切な維持管理を進め、生産性や収益性を確保します。
- 農産物の安定的な集出荷体制等の確保をはかるため、品種特性等に対応した農産物集出荷貯蔵施設などの整備を進めます。
- 沿岸資源の維持・増大と安定的な漁業生産・出荷体制の確保をはかるため、水産業の活動の拠点となる漁港や関連施設などの水産基盤等の整備を進めます。
- 適正な森林施業の実施や森林保全により、健全な森林資源の維持造成や、しいたけ等の特用林産物の生産を促進します。

### 戦略3 担い手育成

～未来を担う生産者を育てる～

#### 【現 状】

十勝では、帯広畜産大学をはじめ北海道立農業大学校や農業高校などの教育機関から、地域に農業の担い手となる人材が輩出されています。また、新規就農者や農林漁業の担い手を対象とした各種研修会の開催、相談業務など、行政や関係機関が連携しながら担い手の育成を進めています。

#### 【取組内容】

- 関係機関と連携して、生産技術や経営管理手法等の研修の実施など、経営者となる担い手の育成を促進します。
- 農林漁業者、就業希望者への情報提供など、関係機関と連携をはかりながら円滑な新規就労や参入者への支援を行います。
- 農商工連携の強化をはかるため、農林漁業の担い手と商工業の担い手の連携を促進します。

## 戦略4 試験研究機関との連携

～知的機関とスクラムを組む～

### 【現 状】

十勝では、帯広畜産大学をはじめ、農研機構北海道農業研究センターや十勝農業試験場、畜産試験場などで、農業関連の試験研究が行われています。

また、北海道立十勝圏地域食品加工技術センター・十勝産業振興センターを管理運営する公益財団法人とかち財団では、大学や試験研究機関と連携し、加工食品の開発や農産物の加工適性評価、農業機械・食品加工機械の自動化技術の開発など、農林漁業を核にした農産物の付加価値向上等の取り組みが行われています。

さらに、試験研究機関の研究成果を生産・加工現場や、消費者等へ周知する取り組みが行われています。

### 【取組内容】

- 新品種の研究やICT・IoT・AI技術を活用した先駆的農業に関する研究などについて、試験研究機関をはじめとする関係機関との情報共有や、実践・普及に向けた、共同研究や連携強化をはかります。
- 大学、試験研究機関などと連携し、開発中の新品種・新技術などに関する研究成果や情報を、生産者・加工業者、流通業者等の地域の関係者に迅速に提供していきます。
- 試験研究機関との産学官連携による取り組みや、開発された製品等に関する情報を、地域住民をはじめとする消費者等に広く提供していきます。



## 戦略5 農林水産物の安全・安心の確立 ～食の安全安心を確保する～

### 【現 状】

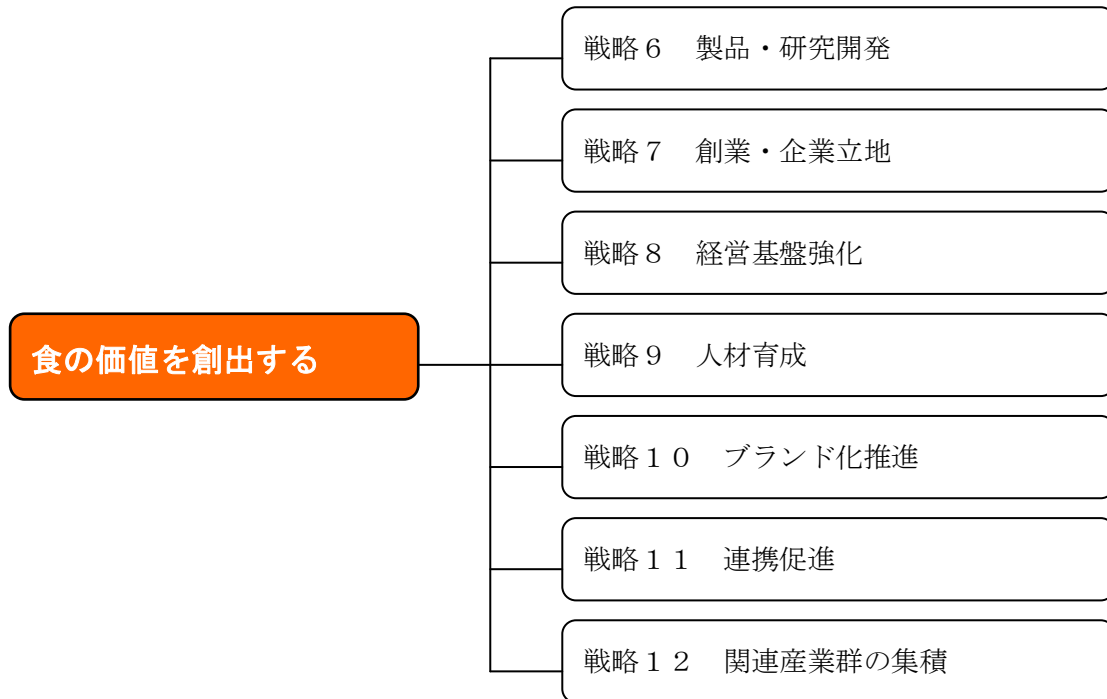
口蹄疫やBSE、高病原性鳥インフルエンザなどの発生、輸入食品の残留農薬や食品の偽装表示などの問題を契機として、消費者の食の安全性に対する関心が高まっています。

十勝においては、生産者等による生産履歴記帳運動や自主的な土壌診断、農産物残留農薬検査システム、GAPやHACCPの導入など、食の安全性に関する体制整備が進められています。

行政機関においても、関係機関と連携して、クリーン農業技術の普及・拡大や、関係機関と連携した農薬等の適正使用の周知など、食の安全・安心に対する取り組みを進めています。

### 【取組内容】

- 土壌診断による適正な施肥設計や耕畜連携による有機質資材の活用促進等、農薬と化学肥料の削減につながる取り組みなどを通じてクリーン農業を促進します。
- 農林水産省のエコファーマー認定制度や北海道独自の北のクリーン農産物表示制度等の認定や登録などを促進します。
- 関係機関と連携した家畜伝染病防疫対策や畜舎環境への配慮など、家畜衛生管理の充実・強化を進めます。
- 生産段階でのGAPやHACCP等の手法を導入した管理の促進や、流通段階でのトレーサビリティ確保の促進などにより、食の安全・安心の確保をはかります。



## 戦略6 製品・研究開発 ～とちの食の価値を探り出す～

### 【現 状】

帯広畜産大学には、産学官連携の拠点である地域連携推進センターが設置されており、企業・試験研究機関・行政機関等が連携しながら、研究開発に係わる技術相談、新技術や製品開発支援、人材の育成などを行っています。

公益財団法人とち財団では、食品加工や食品関連機器等に関し、地域のニーズに対応した試験研究・技術支援（技術相談・人材育成など）の取り組みを進めています。

また、自治体や民間企業においても、研究所等が設置されており、農林水産物に関する研究・開発が行われています。

### 【取組内容】

- 大学・試験研究機関等の研究成果を活用した企業との共同研究や、地域の特性や資源などを利活用した新製品・新技術等の開発を支援します。
- フードバレーとち推進協議会のプラットフォーム機能を活かした相談活動や企業間の連携機会の提供などにより、新たな製品の開発や技術開発などを促進します。

**【現 状】**

十勝においては、19市町村が参加する十勝地域産業活性化協議会が設立され、相互に連携しながら企業立地を推進しています。また、各市町村においても、工業団地整備や企業誘致などに取り組んでいます。

十勝管内の金融機関をはじめ、市町村や中小企業支援機関、商工団体などが連携し、企業や新たな人材の創業・起業などに対する支援を行っています。

**【取組内容】**

- 金融機関や公益財団法人とち財団、中小企業支援機関、関係団体、行政機関などが連携し、創業や起業に関する支援情報提供やアドバイスなど、創業・起業者に対する支援に取り組みます。
- 起業家の育成を目的とした創業・起業セミナーの開催など、創業・起業環境の整備に取り組みます。
- 地域が一体となって、首都圏等における企業誘致に向けたPR活動を行います。
- 産地立地型企业などの誘致や地場企業の規模拡大などに向けた取り組みを進めます。

## 戦略8 経営基盤強化

～とちの企業力を高める～

### 【現 状】

十勝管内の金融機関では、金融業務のほか企業等の経営基盤を強化するため、経営塾やセミナーなどを行っています。また、中小企業で組織する団体や商工団体等が、経営力向上のための講習や経営基盤強化のためのセミナーの開催、専門家派遣などの支援を行っています。

帯広畜産大学地域連携推進センターが、地場企業等の技術相談などの拠点となっているほか、中小企業基盤整備機構北海道支部や北海道中小企業総合支援センターなどの支所や相談窓口が設置されるなど、企業に対する支援が充実してきています。

### 【取組内容】

- 関係団体・機関や市町村のネットワークを強化し、専門家による経営アドバイスや融資制度など、各種支援制度等の情報を広く企業等に提供するとともに、事業承継や事業再生の取り組みを支援します。
- 生産者や企業等の資金繰りの円滑化に資する制度の充実や周知を進めます。
- 農商工・産学官連携の取り組みを活用しながら、企業等の新分野進出支援や経営多角化などを支援します。

## 戦略9 人材育成 ～とちの食の価値を活かす人を育てる～

### 【現 状】

帯広畜産大学や農商工団体、中小企業支援機関、金融機関、行政機関などにおいて、人材育成や異業種交流などの取り組みが行われています。

また、中小企業支援団体が、行政機関と連携しながら、人材や企業等のマッチングの取り組みなどを行っているほか、関係団体・機関などが連携して、人材育成に関する情報交換や情報の一元化をはかっています。

### 【取組内容】

- 地域産業活性化を担う人材のスキルアップの促進や、異業種交流、創業・起業、経営多角化などを旨とする人材の育成をはかります。また、地域独自の技術の把握に努め、技術継承に対する支援を行います。
- 人材マッチングシステムの充実による多様な就業機会の提供、職業体験機会の提供などによる求職者の企業への就職促進や求人・求職のミスマッチ解消を進めます。
- 地場産品を活用した製品開発技術向上の専門的な講習のほか、企業や個人事業者の出会いの場を提供し、相互交流による製品開発や販路拡大に関するスキルの向上などを促進します。
- 実践的な講習や国内外研修を行うなど、農商工連携や6次産業化に資する人材の育成に取り組みます。
- 農商工団体や市町村、大学をはじめ専門学校や公共職業能力開発施設などによる、実践的な研修機会の提供や、企業経営力や生産性向上などに貢献する高度な技能を有する人材の育成・確保をはかります。

## 戦略10 ブランド化推進

～とかちのブランド力を活かす～

### 【現 状】

十勝においては、地域団体商標に長いもやだいこんなどが登録されるなど、生産物のブランド化の取り組みが行われています。

また、公益財団法人とかち財団では、地域の加工食品に関する「十勝ブランド」を形成・確立するための取り組みを推進しています。

### 【取組内容】

- 十勝ブランド形成・確立の取り組みを推進するとともに、地場製品のブランド化を進めます。
- 特許や実用新案、地域団体商標の登録など、企業や団体等の知的財産活動を支援します。
- 大学や試験研究機関、民間の研究所等が持つ特許などの知的財産の活用を促進します。また、地域ブランドに関する国や北海道などの取り組みについて、生産者や関係団体・企業等、消費者などとの情報共有や情報収集を進めます。

## 戦略 1 1 連携促進

～プレイヤーの結びつきを深める～

### 【現 状】

帯広畜産大学地域連携推進センターでは、企業との共同研究などが行われています。また、大学や十勝管内の試験研究機関の6研究機関が、食の安全と安心、生産や衛生に関する人材育成に連携・協力して取り組むスクラム十勝を設置し、試験研究機関の相互連携をはかっています。

十勝地域では、産学官・農商工連携等を促進するため、十勝管内の農林漁業団体等で組織するとかち産業団体協議会が組織されているほか、大学、試験研究機関、公益財団法人とかち財団、自治体などが連携して、共同研究や共同開発が行われています。

### 【取組内容】

- 大学や試験研究機関等の一層の連携強化をはかるとともに、試験研究成果の活用に向け関係団体・企業等との連携を促進します。
- 農商工連携を促進するため、生産者と関係団体・企業等との出会う機会を提供します。
- 6次産業化のための異業種交流や、同業種の連携による製品開発や技術交流など、地域内外の関係団体・企業間の連携を促進する機会を提供します。
- 関係自治体と連携して、食に関連する取り組みや交流を促進します。

**【現 状】**

十勝には、食品加工などの食関連企業や農業機械などの農業関連企業が数多く立地しています。

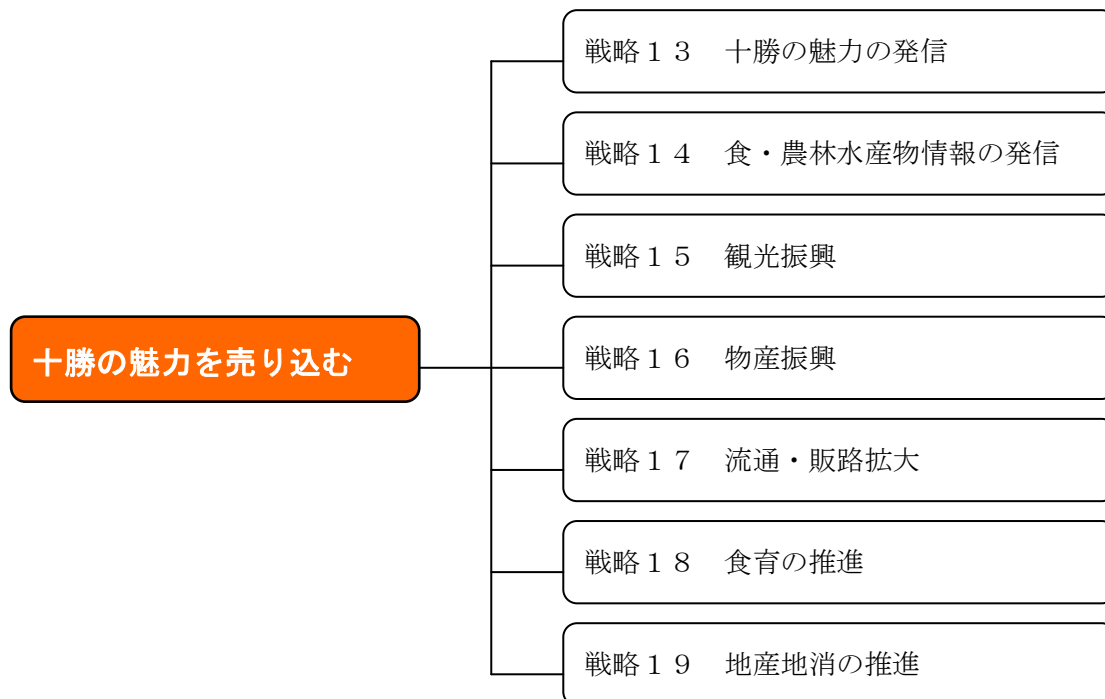
地域の事業者や大学、試験研究機関、行政などと域外企業が連携しながら、機能性食品や食の健康価値の創出に向けた取組みが行われています。

生産者や企業、関係団体が連携し、廃食油を利用したバイオディーゼル燃料（BDF）製造、食品残さを活用したエコフィードの生産、家畜ふん尿などの農業廃棄物を利用したバイオガспランツの整備など、豊富なバイオマス資源を活用した取組みが行われています。

**【取組内容】**

- 地域特性や優位性を活かした産業集積に向け、食と農林漁業を中心とする地域資源関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業などの企業立地に対する支援を行います。
- 大学・試験研究機関・行政・関係団体などと連携し、地域資源を活用する地域事業者と域外企業との協力による新たな機能性食品の開発や食の健康価値の創出に向けた取組みに対する支援を行います。
- 豊富なバイオマス資源や寒冷な気候などを活用した、持続可能で環境に優しい自然エネルギーに関する研究開発や産業化支援の取組みを進めます。
- 新しい技術を活用した植物工場などの食関連施設の立地を促進します。





## 戦略1.3 十勝の魅力の発信

～とかちの価値を発信する～

### 【現 状】

北海道は、雄大な自然を背景とした景勝地や農林漁業に支えられた豊かな食などの観光資源を持ち、国内外から注目されている地域です。

十勝においても、国内外のプロモーション活動やインターネットなどの各種メディアを利用して、十勝の魅力ある自然環境や安全で豊かな食などの情報を提供しています。

### 【取組内容】

- インターネットなど各種メディアを有効活用し、国内外に十勝の魅力を発信します。
- 国内やアジア諸国を中心とした海外へのプロモーション活動を行い、十勝への観光客の誘致等をはかります。
- 海外のメディアを招聘し、十勝の情報を発信します。
- 十勝管内で開催される祭りやイベント情報を一体的に発信し、十勝の交流人口の増加をはかります。
- 十勝の企業の製品や技術を活用した海外展開に対する支援を行います。

## 戦略14 食・農林水産物情報の発信

～とちの食を広める～

### 【現 状】

道の駅や産直市場が設置され、新鮮な農林水産物などが販売されているほか、農畜産物や水産物、加工品、グルメなどの情報を各種パンフレットや雑誌、ホームページなど各種メディアを通じて提供しています。

また、海外や首都圏等で開催されるビジネスマッチングを活用し、生産物や加工食品などの情報提供を行っています。

### 【取組内容】

- 地域で開催される食関連のイベントと連携し、農畜産物や水産物などに関する情報を提供します。
- ホームページやタウン誌など様々なメディアを活用し、フードバレーとちの取り組みや食や農林漁業に関する情報を発信します。
- ビジネスマッチングの開催により、商品情報の提供や販路拡大を行います。

## 戦略15 観光振興 ～とちかに人を呼び込む～

### 【現 状】

十勝は、大雪山国立公園や阿寒摩周国立公園、日高山脈襟裳国定公園などの豊かな自然に恵まれ、また、十勝川温泉やぬかびら源泉郷をはじめとする温泉施設や観光施設のほか、スキーやスケートなどのウインタースポーツ施設が整備され、年間約1,042万人の観光客が訪れています。

また、地域の農業を背景とした体験型コンテンツや雄大な自然環境を活用したアクティビティー等によるアウトドア観光など、体験・滞在型観光に向けた取組みが進められています。

### 【取組内容】

- 雄大な十勝の自然や地場食材を活用したメニューを提供する飲食店などの食関連情報を発信し、地域の食材を活かした観光振興に取り組みます。
- 農林漁業の体験や食品加工場の視察等など、産業と観光が結びついた産業観光を促進します。
- 観光案内所や鉄道駅、空港、道の駅などの施設を活用して、十勝の観光情報を提供します。
- 雄大な自然環境を活用したアウトドア観光など、十勝管内の広域観光や滞在型・体験型観光を促進します。
- コンベンションの誘致をはじめ、観光関連団体と連携して、イベントや十勝観光のPRなどを行います。

## 戦略16 物産振興 ～とちのモノを売り込む～

### 【現 状】

十勝の物産は、各市町村の商業店舗や農産物直売所で販売されているのをはじめ、各企業等がインターネットなどでの販売を行っています。また、鉄道駅や空港、道の駅などでは、十勝のおみやげとして様々な商品が販売されています。

このほか、関係団体による物産展やイベントにおいて十勝の物産販売が行われています。

### 【取組内容】

- 十勝の物産を消費者に周知するため、物産展やイベントの開催などにより、地域内の農林水産物や加工品等のPRを行います。
- 企業等への情報提供や関係機関と連携した商談会の開催、展示会等への出展支援などを通して、物産振興をはかります。
- 十勝物産展の開催などにより、十勝の良質な農林水産物や加工品の販売を促進します。

## 戦略 17 流通・販路拡大 ～とちの食を国内外に広める～

### 【現 状】

十勝で生産されている農林水産物は、生鮮食品や加工原料として管外に移出されています。海外にも、長いもや枝豆が輸出されているほか、農業機械等も中国などに輸出されています。また、全国で開催されている物産展では、良質な原料から作られるスイーツなどの十勝の食品が好評を得ています。

また、高規格幹線道路などの道路や、空港、港湾などの整備が進められ、季節運航便の通年運航や、アジアの国際チャーター便誘致に向けて、平成29年3月にとち帯広空港ターミナルビル増築部がオープンするなど、十勝圏域と他地域間のアクセス向上がはかられてきています。また、重要港湾である十勝港は、農業王国十勝を支える港として重要な役割を担っています。

### 【取組内容】

- 首都圏等のバイヤーとの商談機会などを通じて、関係機関や団体と連携し、商品の販路開拓を行います。
- 展示会や物産展、ビジネスマッチング等への出展を支援し、市場開拓や販路拡大を促進します。
- 十勝の農林水産物や食品などの輸出拡大に取り組みます。
- 十勝管内はもとより、他の地域との安全で円滑な人やモノの交流を確保するため、道路をはじめとする流通網の整備を進めます。
- 十勝港の整備をはじめ、小型漁船の操業効率化や安全確保などのため港の整備を進めます。

## 戦略18 食育の推進 ～とちの食生活・文化を育む～

### 【現 状】

食を通して健康で豊かな生活を送るため、食に関する知識や食を選択する判断力を身につける「食育」の取り組みが、管内市町村で進められています。

### 【取組内容】

- 地元の食材を使った健康で豊かな食生活の実践や、食の安全・安心に対する理解を促進します。
- 地域の農林水産業や食産業、食文化に対する理解を深めるなど、食育に関する取り組みを進めます。

## 戦略19 地産地消の推進 ～とちでつくり、とちで食べる～

### 【現 状】

十勝管内の市町村では、産直市場や朝市などが設けられ、地域で生産された農林水産物や地元で加工された商品などを地域で消費する、地産地消を進めています。

### 【取組内容】

- 消費者が地域の地産地消に関する情報を入手しやすい環境づくりを進めます。
- 地域で開催される食に関するイベントとの連携などによる地産地消を推進します。
- 学校給食や家庭などにおける地産地消の取り組みを、十勝で連携して進めます。

### 3 関係機関・団体の取り組み

#### 農林漁業団体

##### ●十勝地区農業協同組合長会

十勝地区農業協同組合長会は、「JAネットワーク十勝」を設置し、十勝農業協同組合連合会と連携しながら、生産履歴やGAP、残留農薬検査や生乳抗生物質迅速検査など農畜産物の安全安心の取り組み、バルク乳温遠隔監視システムによる品質管理、飼料土壌分析の活用、施設の共同利用などによるコスト削減、酪農広域フィールドアドバイザーや和牛育成技術の統一マニュアルなどによる生産性と品質の向上、十勝和牛の商標登録によるブランド化など、組合員の営農と生活の向上を支援する広域的な共同事業に取り組んでいます。

平成26年度からは、「Made in 十勝」ブランド推進事業により、十勝JA産の農畜産物や加工品の消費者PRを行っています。

また、平成29年4月に策定した「十勝農業ビジョン2021～世界に誇る十勝農業～」においては、2021年の農業生産額の目標額を3,500億円としました。

##### ●十勝地区森林組合振興会・十勝管内漁業協同組合長会

十勝地区森林組合振興会や十勝管内漁業協同組合長会は、「とちかち産業団体協議会」などに参加し、「食と農林漁業」を活かした産業の活性化に取り組んでいます。

#### 商工業団体

##### ●帯広商工会議所

帯広商工会議所は、地域の総合経済団体として「連携から発展へ」を活動方針に掲げ、十勝管内経済団体や他の産業団体と「とちかち産業団体協議会」を設立して連携強化をはかり、農商工連携を促進しています。また、オール十勝で「Myとちかち推進運動」を展開し、十勝産商品の消費拡大、販売促進を進めています。

また、十勝最大の食と音楽のイベント「とちかちマルシェ」を核とした観光振興事業などにより、十勝の魅力発信を行っています。

## ●北海道中小企業家同友会とかち支部

北海道中小企業家同友会とかち支部は、十勝管内約870社の中小企業や農業者などが加入する組織で、組織内に農業者や農業関連企業が参加する「農業経営部会」や農商工連携による新産業創出を目指す「十勝農商工連携部会」を設置するなど、農業や農商工連携の推進に取り組んでいます。

特に、農業者や商工業者、関係機関職員などを対象としたセミナーの開催や、首都圏や関西圏と十勝の食品関連企業等のビジネスマッチングや展示商談会、さらに帯広市と連携した十勝の魅力ある食を海外へ売り込むための海外販路開拓事業などにも精力的に取り組んでいます。

また、地域の高校生の就職支援などを目的としたセミナー「キャリアクエスト」や、地元企業によるインターンシップ受入の推進などを帯広市と連携して行っています。さらに帯広地域雇用創出促進協議会の事務局として、求職者や中小企業に勤める人たちを対象とした人材育成や、求職者の地元企業への就職支援として人材マッチング事業の「ジョブジョブとかち」や合同企業説明会の開催にも取り組んでおり、雇用創出実績などが全国的に高く評価されています。

## ●北海道中小企業団体中央会十勝支部

北海道中小企業団体中央会十勝支部は、管内の中小企業者で組織する事業協同組合をはじめとした、各種中小企業組合の百数十組合を会員として、各種セミナー、調査事業、情報提供事業のほか、専門家による個別相談、下請対策、官公需対策等に取り組んでいます。また、会員の中小企業組合を軸に、そこに参画されている各企業に対しても、地域における相乗効果を目指したオール十勝の活動について普及啓発を行い、関係団体との更なる連携強化に取り組んでいます。



## ●北海道十勝管内商工会連合会

北海道十勝管内商工会連合会は、管内 18 町村にある商工会によって組織されており、連携して各種事業に取り組むと共に、各商工会が取組んでいる地域振興事業の支援を行っています。また、十勝管内商工会青年部連合会と十勝管内商工会女性部連合会では、地域性のある優れた「食」「イベント」「観光」について「夢 Land とかち」ブランド認証を実施し、十勝管内各町村の魅力発信に取り組んでいます。

## ●十勝観光連盟・帯広物産協会

十勝観光連盟や帯広物産協会は、オール十勝の体制で観光や物産振興に取り組んでおり、十勝の観光パンフレット作成や動画配信など観光情報発信による観光客の誘致、とかち物産センター等における、十勝ブランドの形成に向けた地場製品のPRや販売、百貨店イベント等での紹介宣伝を行い、十勝の魅力発信を行っています。

## 金融機関

### ●帯広銀行協会

帯広銀行協会は、帯広市内の銀行に本店又は支店を有する銀行で構成する団体です。地域経済の発展に資することを目的としており、参加金融機関においては農業者や食品関連企業等への資金調達面での支援、ビジネスマッチングによる販路拡大支援等に取り組んでいます。

### ●帯広信用金庫

帯広信用金庫は、地域の協同組織金融機関として、生産者や事業者の販路開拓・拡大のための商談会の開催・出展支援、マーケティングの専門家や連携する大学・研究機関との各種相談会の実施、おびしん地域経営塾による経営者育成や地元高校生向け人材育成支援など、長期的な視点に立って包括的、体系的で継続的な支援をシームレスに行っています。また、新たな食文化の創造を目的とする「とかち酒文化再現プロジェクト」や「“TOKACHI Grand Nuts（トカチグランナッツ）”プロジェクト」など、産学官・農商工と金融の連携による各種プロジェクトの活動も積極的に推進しています。

## ●日本政策金融公庫

日本政策金融公庫は、「一般の金融機関が行う金融を補完すること」を旨としつつ、国の中小企業・小規模事業者政策や農林漁業政策等に基づき、法律や予算で決められた範囲で金融機能を発揮している政策金融機関です。より身近なところで、お客さまのニーズ・課題にマッチした「経営改善のアドバイス」「ビジネスマッチング」「専門家の紹介」など、さまざまな提案や情報提供を行っています。

## 大学・試験研究機関

### ●帯広畜産大学

帯広畜産大学は、「農学」「畜産科学」「獣医学」に関する教育研究を推進し、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成により、地域及び国際社会の貢献に取り組んでいます。

国際貢献・地域貢献活動では、発展途上国の J I C A 研修員や技術者等受け入れのほか、教員を J I C A 専門家として世界各国に派遣しています。国際的な大学間学術交流協定を、アメリカのコネル大学やタイのチェンマイ大学など 26 大学と締結しているほか、部局間学術交流協定も行っています。このほか、平成 17 年に帯広市と包括的連携協力協定を締結したのをはじめ、帯広農業高等学校や更別農業高等学校との高大連携、平成 18 年に帯広信用金庫及び北洋銀行との産学連携協力協定や、平成 24 年に敷島製パン(株)、カルビー(株)との包括連携協定などを締結し、地域連携にも積極的に取り組んでいます。

平成 8 年度に設立された地域連携推進センターでは、地域に開かれた大学の窓口として、民間企業等との共同研究や技術相談対応等の産学官連携事業、H A C C P などの国際標準の食品安全マネジメントシステムの導入支援、平成 25 年に改修したインキュベーションオフィスに入居する 10 社の共同研究企業と連携した活動などを行っています。また、平成 24 年度からは帯広市との共同事業である「フードバレーとから人材育成事業」において、企業の事業意欲や経営能力を高めるための研修を実施しています。

## ●公益財団法人とかち財団

公益財団法人とかち財団は、十勝圏域の農業を核とした地域産業の振興を支援することにより、地域産業の高度化・複合化を促進し、活力ある地域社会の形成に資することを目的として平成5年8月に財団法人十勝圏振興機構として設立され、平成25年に公益財団法人に移行しました。

製品開発支援や技術支援等を中心に、十勝地域の企業等に対して総合的な産業支援活動を行っている団体です。2つの試験研究施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター・十勝産業振興センター）を管理運営し、食品分野及び機械・電子分野の試験研究・技術開発を行うとともに、技術相談対応や企業訪問による直接支援、技術者人材の育成に取り組んでいます。これまでの活動の中から、商品化に繋がった事例は数多く、現在も開発中の案件が多数あります。

平成30年4月には、（公財）起業家支援財団と合併し、十勝の産業の将来を担う起業家や事業者を支援する人材育成事業「十勝ビジネス支援プロジェクト」を開始するなど、地域産業支援、起業創業支援のプラットフォーム組織としての取組みを進めています。

## ●農研機構北海道農業研究センター

芽室町に立地する北海道農業研究センター（芽室研究拠点）は、北海道地域の農業・食品産業のさらなる発展に寄与し、国民の皆様に安全で安心な食料を安定的に提供するため、生産現場のニーズに直結する先導的研究開発およびその速やかな普及を図ることを目指しています。第4期中長期計画（2016～20年度）においては、地域のハブ機能を強化し、生産現場の声を研究方針により反映させる仕組みを整備するとともに、農業関係および異分野の研究機関、行政機関、大学、民間等との連携を進め、成果の最大化を図ります。

芽室研究拠点には、畑作に関する研究を実施する畑作物開発利用研究領域と大規模畑作研究領域の2つの研究領域を設置し、秋まき小麦、馬鈴薯、てん菜等の品種改良、大規模畑輪作生産システム確立およびICT等利用による精密・低コスト大規模農業の技術開発等の研究を行っています。

## ●家畜改良センター十勝牧場

音更町に立地する家畜改良センター十勝牧場では、畜産物需要に即した肉用牛の育種改良、乳用牛優良種雄牛の育成・供給や、農用馬の改良、稀少在来馬の保存、めん羊の繁殖技術の開発のほか、畜産の基盤である草地造成に必要な飼料作物種子の増殖や原種供給などの業務が行われています。

## ●十勝農業試験場・畜産試験場

芽室町に立地する十勝農業試験場と、新得町に立地する畜産試験場は、機構改革により平成22年4月から地方独立行政法人北海道立総合研究機構へ改組されました。十勝農業試験場では大豆、小豆、菜豆の品種改良を実施するほか、十勝地方の耕種部門に関する、作物栽培、病害虫、土壌肥料、経営、農業機械を網羅した試験研究や、地域の農業改良普及センターと協力し技術普及と地域課題の解決支援に取り組んでいます。

畜産試験場では肉牛、豚、地鶏等の育種改良や種畜供給、飼養管理技術のほか、家畜の疾病予防、受精卵移植、牧草や飼料作物栽培、ふん尿処理等の研究に取り組むとともに、地域の農業改良普及センターと協力し現地の問題解決を支援しています。

2005年に設置された「スクラム十勝」は、十勝に立地している帯広畜産大学、農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター、北海道立総合研究機構畜産試験場、同十勝農業試験場、公益財団法人とかち財団、家畜改良センター十勝牧場の公設6研究機関が、包括的な連携協力を行いながら、我が国の動植物性食品生産の中核である十勝地域が抱える食の安全と安心、生産と衛生に関する課題解決並びに課題解決に資する高度な人材を育成する活動を行っています。

## ●独立行政法人国際協力機構北海道センター（帯広）（通称：JICA 北海道（帯広））

JICA 北海道（帯広）は、市民参加型の国際協力を推進し、北海道が誇る多様な技術と発展の経験を途上国の「人づくり」「国づくり」に役立て、途上国の人々との「心のふれあい」を育むために、道東における国際協力の拠点として、1996年4月、JICA 北海道（札幌）とともにオープンしました。3階建ての施設には、途上国からの研修員50名が宿泊でき、研修員と市民の皆さまとの交流スペースも設けられています。

JICA では、開発途上国のために、研修員の受入や青年海外協力隊員の派遣などの技術協力や、無償資金協力、有償資金協力（円借款）といったさまざまな国際協力事業を行っています。

## 行政機関

### ●帯広開発建設部

帯広開発建設部は、北海道開発局の現地機関として、十勝管内における治水、道路、農業農村整備などの社会基盤整備を実施しており、これらの事業を通じて十勝地域の農業の生産基盤の強化や流通・販路拡大のバックアップに努めています。また、自治体や地域づくり団体等が実施する、わが村は美しく一北海道運動、十勝シーニックバイウエイなどと連携して、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりに取り組んでいます。このほか、地域との連携・協働の取り組みも進められており、帯広農業高校とパートナーシップ協定を結び、同校の生徒を対象とした就業体験や現場見学を実施するなど、農業王国十勝の次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

### ●十勝総合振興局

北海道十勝総合振興局では、北海道総合計画に示す6つの連携地域ごとに策定する政策展開方針に基づき、4つの地域重点政策ユニット（「食の拠点」とかち強化プロジェクト、「ひがし北海道」広域観光プロジェクト、「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト、「多様な人材の活躍」とかち支援プロジェクト）を基軸とした地域づくりを進めています。

「食の拠点」とかち強化プロジェクトでは、我が国における食料供給地域としての十勝の優位性を活かし、農商工連携等による十勝産食材の付加価値向上や海外輸出も含めた販路の拡大を進め、強いブランド力をもった食産業の構築に向け取り組んでいます。

「ひがし北海道」広域観光プロジェクトでは、北海道横断自動車道の更なる延伸や外国人観光客の増加、旅行形態の多様化といった時代の流れを的確に捉え、道東の優れた自然環境をはじめとする多彩な観光資源、広大な畑作酪農地帯や豊富な漁業資源など各地域個々の魅力を一層向上させるとともに、道東4地域間連携による相乗効果を高め、道東地域全体への誘客促進に向け取り組んでいます。

「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクトでは、道内有数の賦存量を誇るバイオマス資源を活かした再生可能エネルギー等の利活用による新たな産業の創出や農業・農村の活性化、今後成長が期待される航空宇宙関連分野や大規模経営が展開されている十勝の農業におけるICT化の取組みなど、先進的な取組みを一層促進することにより次世代に向けて先駆的で魅力ある地域づくりを進めています。

「多様な人材の活躍」とかち支援プロジェクトでは、十勝の地域特性を踏まえた女性の社会進出や起業化への支援、また、アクティブシニアと言われる健康で活動的なシニア層をターゲットにした移住・交流の促進により、若い世代はもとより地域の産業・社会を支える女性やシニア世代を含めた幅広い層の人材を育成・確保するための取組みを進めています。

## ●十勝管内市町村

十勝管内の市町村においても、帯広開発建設部や十勝総合振興局、十勝町村会をはじめとする行政機関や関係団体、大学・試験研究機関、金融機関等と連携して、農林漁業や商工業、観光などの産業振興施策を実施しています。

## 4 フードバレーとかちの施策の進め方

「フードバレーとかち」を推進していく上では、プラットフォームとなるフードバレーとかち推進協議会が中心となり、プレイヤーとなる生産者や企業などが活動するためのコーディネート機能を発揮することが重要です。

協議会の構成メンバーである、農林漁業団体や商工団体、金融機関、大学・試験研究機関、さらには、帯広開発建設部や十勝総合振興局、市町村の行政機関が連携し、国際戦略総合特区やバイオマス産業都市などの国の支援制度等を活用しながら、十勝全体の力を結集して取り組んでいきます。

また、施策の展開にあたっては、オール十勝での取り組みはもとより、各市町村における独自の取り組みやテーマごとに連携した取り組みなど、柔軟に対応しながら進めていきます。

## 5 参考資料

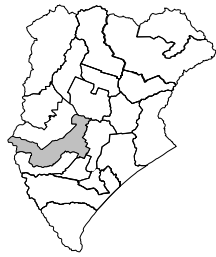
### (1) 市町村の現状

帯広市	3 1
音更町	3 2
士幌町	3 3
上士幌町	3 4
鹿追町	3 5
新得町	3 6
清水町	3 7
芽室町	3 8
中札内村	3 9
更別村	4 0
大樹町	4 1
広尾町	4 2
幕別町	4 3
池田町	4 4
豊頃町	4 5
本別町	4 6
足寄町	4 7
陸別町	4 8
浦幌町	4 9

### (2) 関係団体・機関一覧 5 0



# 帯広市



## 【主な指標】

人口：166,171人 ●製造品出荷額等：1,429.3億円(H28)  
(H30.3.31現在) ●農業産出額：284.7億円(H27)  
面積：619.34km<sup>2</sup> ●観光客入込数：2704.2千人(H29)

帯広市は、高速道路や鉄道網、とちか帯広空港を通じた十勝の玄関口となっており、産業経済、教育、福祉、行政などの都市機能が集積した東北北海道の拠点都市です。

広大な大地や豊富な農畜産物など、地域の強みを活かしながら、「フードバレーとちかち」を旗印に、「人と環境にやさしい 活力ある 田園都市 おびひろ」を目指したまちづくりを進めています。

また、帯広競馬場では、迫力ある「ばんえい競馬」のほか、観光交流施設「とちかむら」で十勝の物産やグルメ、スイーツなどが楽しめます。

### ■特産品・グルメ

○ばれいしょ・ながいも・だいこん ○スイーツ ○豚丼 ○ハム・ソーセージ

### ■大学・試験研究機関等

○帯広畜産大学 ○種苗管理センター十勝農場

○公益財団法人とちか財団

(北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター)

### ■食関連工場等

○(株)明治十勝帯広工場 ○カルビーポテト(株)帯広工場

### ■観光名所

○ばんえい競馬 ○とちかむら ○北の屋台 ○愛国・幸福駅 ○八千代牧場

○紫竹ガーデン ○真鍋庭園 ○緑ヶ丘公園 ○明治北海道十勝オーバル(屋内スポーツスケート場)

### ■イベント等

○平原まつり ○氷祭り ○菊まつり ○花火大会

### ■その他

○西20条北工業団地

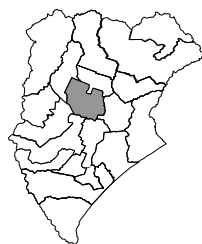


帯広市発祥の「豚丼」



世界で唯一の「ばんえい競馬」

# 音更町



## 【主な指標】

人口：44,773人 ●製造品出荷額等：797.0億円 (H28)  
(H30.3.31現在) ●農業産出額：227.3億円 (H27)  
面積：466.02km<sup>2</sup> ●観光客入込数：1543.4千人 (H29)

音更町は、広大な十勝平野の中心部に位置し、十勝川を挟んで帯広市の北側に隣接しており、町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。

国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょなど、数々の農産物を産み出す豊かな大地と、北海道遺産にも選定された「モール（植物性）温泉」が湧き出す十勝川温泉があります。

市街地には、大型商業施設や飲食店、コンビニなど様々な商店があるほか、各種医療施設、社会福祉施設など、日常の生活環境が整っています。

さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めるなど、豊かな自然環境と都市の魅力を活かした「住みよいまち」、「住み続けたいまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。

### ■特産品・グルメ

- 音更大袖振大豆 ○人参 ○ブロッコリー ○煮豆缶 ○チーズ・バター ○すずらん和牛
- なたね油 ○十勝川モール温泉豚 ○十勝川モール温泉顔パック・入浴剤・美容ジェル
- 十勝ラクレットモールウォッシュ

### ■大学・試験研究機関等

- 家畜改良センター十勝牧場 ○帯広大谷短期大学

### ■食関連工場等

- よつ葉乳業(株)十勝主管工場 ○(株)山本忠信商店製粉工場 ○柳月スイートピアガーデン

### ■観光名所

- 十勝が丘公園（花時計ハナック） ○十勝エコロジーパーク
- 家畜改良センター十勝牧場展望台・白樺並木 ○ガーデンスパ十勝川温泉

### ■イベント等

- 花風景～ハナックと花ロード ○オータムフェスタ i n 十勝川 ○十勝川白鳥まつり「彩凜華」

### ■その他

- IC工業団地

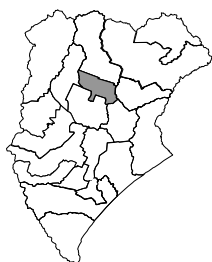


生産量日本一の「小麦」



十勝川白鳥まつり「彩凜華（さいりんか）」

# 士幌町



## 【主な指標】

人口：6,114人  
(H30.3.31現在)  
面積：259.19km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：177.7億円 (H28)  
●農業産出額：279.6億円 (H27)  
●観光客入込数：402.0千人 (H29)

士幌町は、十勝平野の北部、雄大な大雪国立公園の東大雪の麓に位置し、面積の6割を農用地として高度利用しながらジャガイモ、てん菜、小麦、豆類、生乳、肉用牛を生産する農業が盛んな町で、生産された農畜産物の加工施設も多く農業を主体に関連産業が発達しています。しほろ牛肉やチーズ・ヨーグルトをはじめとする乳製品等の特産品も豊富で、毎年10月に開催する「しほろ収穫祭」では、新鮮な農産物や特産品が販売され、多くの来場者で賑わっています。また、十勝平野を一望できる標高600mの「士幌高原ヌプカの里」、美肌の湯といわれるモール温泉の「道の駅 しほろ温泉」等の観光施設のほか、広大な大地にまっすぐに整列した防風林などの農村風景が美しく広がっています。

町の将来を見据え、地域の特性や資源を生かした真に豊かな農村づくりを目指し、住民との協働のまちづくりを進めています。

### ■特産品・グルメ

- ミニトマト
- しほろ牛肉
- じゃがいも加工品（ポテトチップス、コロッケ、片栗粉など）
- 乳製品（チーズ、ヨーグルト、アイスクリームなど）

### ■大学・試験研究機関等

- 士幌町立士幌高等学校

### ■食関連工場等

- JA士幌町澱粉工場

### ■観光名所

- 士幌高原ヌプカの里
- 道の駅ピア21しほろ
- 道の駅しほろ温泉

### ■イベント等

- しほろ収穫祭

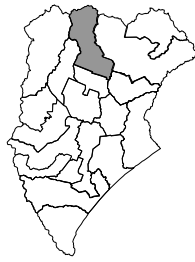


「しほろ牛」の剣先ステーキ



士幌高原「ヌプカの里」

# 上士幌町



## 【主な指標】

人口：4,894人  
(H30.3.31現在) ●製造品出荷額等：23.5億円(H28)  
●農業産出額：153.6億円(H27)  
面積：694.23km<sup>2</sup> ●観光客入込数：439.0千人(H29)

上士幌町は、十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約77%が森林地帯であり自然豊かなまちです。産業は、畑作、酪農などの農業や林業などの第一次産業が盛んで、源泉かけ流し温泉であるぬかびら源泉郷、日本一の広さを誇るナイタイ高原牧場、北海道遺産旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光資源も豊富です。

上士幌町は、移住定住・二地域居住・農林商工連携を推進し、ふるさと納税をはじめとした「都市と農村の交流と対流」のまちづくりに力を入れています。

### ■特産品・グルメ

○十勝ナイタイ和牛 ○十勝ハーブ牛 ○鹿肉 ○ハチミツ ○ミルクジャム ○ジェラート  
○豆缶 ○十勝石工芸品

### ■大学・試験研究機関等

○全農飼料畜産中央研究所E Tセンター ○全農飼料畜産中央研究所種豚開発センター

### ■観光名所

○ナイタイ高原牧場 ○三国峠 ○糠平湖 ○ぬかびら源泉郷  
○旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群

### ■イベント等

○バルーンフェスティバル

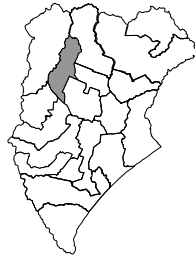


「上士幌ナイタイ高原」牛放牧の様子



「糠平湖」のワカサギ釣り

# 鹿追町



## 【主な指標】

人口：5,542人 (H30.3.31現在)	●製造品出荷額等：5.2億円 (H28)
面積：402.88km <sup>2</sup>	●農業産出額：167.8億円 (H27)
	●観光客入込数：716.2千人 (H29)

大雪山国立公園唯一の自然湖“然別湖”を擁し、夏は“白蛇姫まつり”、冬は結氷した湖上で“しかりべつ湖コタン”が開かれます。アウトドア体験や農業体験など滞在型観光を推進、また、「花と芝生のまちづくり」により年間80万人を超える観光客を町じゅうの花が出迎えます。教育では幼小中高一貫教育・コミュニティスクールのまちしかおいとして、英語教育や環境教育を中心に取り組み、鹿追高校1年生全員を対象に姉妹都市カナダ・ストニイプレイン町へ派遣しています。また、国内最大級のバイオガスプラントを有し、環境に配慮した地域循環型農業を推進しています。

平成25年12月には「とち鹿追ジオパーク」として認定され、町を豊かにし地域の価値を高めることを目指し、教育や人材育成、地域振興に繋がる活動を進めています。

### ■特産品・グルメ

- 鹿追そば ○鹿追焼き(陶芸品) ○チーズ ○アイスクリーム ○豚肉
- ミヤベイワナ(オシヨロコマ) ○チョウザメ ○マンゴー

### ■大学・試験研究機関等

- 鹿追町環境保全センター

### ■食関連工場等

- 鹿追チーズ工房

### ■観光名所

- 然別湖 ○然別峡 ○神田日勝記念美術館 ○福原記念美術館
- 鹿追町ライディングパーク

### ■イベント等

- ふるさと産業まつり ○鹿追そばまつり ○白蛇姫まつり ○しかりべつ湖コタン

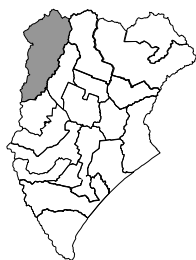


「鹿追そば祭り」の様子



然別湖の冬の風物詩「しかりべつ湖コタン」

# 新得町



## 【主な指標】

人口：6,069人  
(H30.3.31現在)  
面積：1063.83km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：40.2億円(H28)  
●農業産出額：98.5億円(H27)  
●観光客入込数：859.2千人(H29)

北海道のど真ん中！美しく雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれた自然豊かなまちです。6つのダムと7つの水力発電所があり、道東に電力を供給する電気地域の特徴も有しています。

道東と道央を結ぶ鉄道の要衝でもあるほか、農業を中心に林業やサホロリゾートを中心とした観光業が主要産業です。四季折々の風景が見られ、自然の中で育まれた旬の食材、ラフティングやカヌー、乗馬、エコトロッコなどのアウトドア体験も堪能でき、また、ファームインや農業・酪農体験、そば打ち体験など農山村の良さも味わえるまちです。

### ■特産品・グルメ

- 新得そば ○新得地鶏 ○エゾ鹿肉 ○サホロ焼酎 ○十勝漬 ○ナチュラルチーズ
- 原木しいたけ

### ■大学・試験研究機関等

- 畜産試験場 ○林業試験場道東支場

### ■食関連工場等

- 農事組合法人共働学舎新得農場 ○新得物産(株) ○さほろ酒造(株) ○(株)十勝漬物本舗

### ■観光名所

- 狩勝峠 ○トムラウシ温泉 ○旧狩勝線跡 ○クラブ・メッド ○サホロリゾート
- ベアマウンテン

### ■イベント等

- しんとく新そば祭り ○大雪まつり

### ■その他

- 屈足工業団地

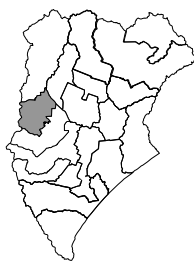


「新得そば」



「十勝川ラフティング」

# 清水町



## 【主な指標】

人口：9,451人  
(H30.3.31現在)  
面積：402.25km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：241.8億円(H28)  
●農業産出額：217.6億円(H27)  
●観光客入込数：40.6千人(H29)

北海道横断自動車道の道東の玄関口、十勝の西部に位置し、日高山脈に抱かれた豊かな大地と清らかな水の恵みを受け、小麦・豆類・てん菜や生乳などの生産が盛んな町です。日本甜菜製糖(株) (バイオ・紙筒工場)、プリマハム(株)北海道工場、ホクレン清水製糖工場など、それらを加工する工場も多く、農産加工の町でもあります。地元産の牛肉・鶏卵を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」が大好評で、新・ご当地グルメグランプリ北海道において3連覇を達成し殿堂入りを果たしました。

昭和12年頃から地域に広がったアイスホッケーや、30年にわたって続けられた「第九」の町民合唱など、文化・スポーツ活動が盛んなまちです。

### ■特産品・グルメ

- 十勝清水牛玉ステーキ丼 ○グリーンめん ○第九のまちしみず(クッキー) ○豚丼名人
- 大平原ハーモニーエッグ ○飲むヨーグルト ○牛とろフレーク ○十勝清水ようかん
- 十勝熟成黒にんにく

### ■大学・試験研究機関等

- (社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所

### ■食関連工場等

- ホクレン清水製糖工場 ○プリマハム(株)北海道工場 ○日本甜菜製糖(株) (イースト) ○マルマス(株)十勝清水工場 (冷凍食品)

### ■観光名所

- 十勝清水四景+1 (清水公園、日勝峠第1展望台、円山展望台、美蔓パノラマパーク、十勝千年の森)

### ■その他

- 緑ヶ丘工業団地



清水町の新ご当地グルメ  
「十勝清水牛玉ステーキ丼」



日高山脈を一望できる「美蔓パノラマパーク」

# 芽室町



## 【主な指標】

人口：18,638人  
(H30.3.31現在)  
面積：513.76km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：849.9億円(H28)  
●農業産出額：243.5億円(H27)  
●観光客入込数：198.9千人(H29)

「日本の食料基地」と言われる十勝平野の中央に位置しており、肥沃な大地と気候条件に恵まれた農業を基幹産業とし、農畜産・林業関連企業を中心とした約230社を有する東工業団地の躍進や、東芽室地区などの宅地開発による人口増加により、さらなる発展をとげています。

芽室町は“町民と行政の協働によるまちづくり”を掲げ、氷灯夜やイリスフェスタに代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新しいグルメの創造など、町民の主体的な地域活動が原動力となって進められています。

2009年に『開町110周年』を迎え、更なる飛躍の“芽室2世紀”にするため、第4期総合計画の将来像である「みどりの中で 子どもにやさしく 思いやりと 活力に満ちた 協働のまち」実現に向けたまちづくりが進められています。

### ■特産品・グルメ

- スイートコーン
- じゃがいも
- ビートオリゴ糖
- ニジマス加工品
- 十勝芽室コーン炒飯

### ■大学・試験研究機関等

- 北海道農業研究センター
- 十勝農業試験場

### ■食関連工場等

- 日本甜菜製糖(株)芽室製糖所
- (株)明治十勝工場

### ■観光名所

- 新嵐山スカイパーク
- 芽室公園

### ■イベント等

- 氷灯夜
- イリス・フェスタ・イン・めむろ

### ■その他

- 東工業団地



芽室町の新ご当地グルメ  
「十勝芽室コーン炒飯」



「ゲートボール」発祥の地



# 中札内村



## 【主な指標】

人口：3,900人

(H30.3.31現在)

面積：292.58km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：123.4億円(H28)

●農業産出額：119.0億円(H27)

●観光客入込数：887.0千人(H29)

日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に広がる村です。その清流を集め豪快に流れ落ちる「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策することができ、癒しの空間として、夏には多くの観光客が訪れます。

このほか、柏林に囲まれる「中札内美術村」には相原求一郎美術館や小泉淳作美術館などがあり、一日中芸術に親しむことができるほか、坂本直行記念館などの芸術館がある「六花の森」では、季節折々の花も楽しむことができます。また「道の駅なかさつない」は、レストランや屋外物産販売所において、新鮮な地元食材の提供を行っており、観光客の憩いの場となっています。

また、夏に開催される「道の駅ガーデン」では様々な花たちが道の駅を彩ります。

### ■特産品・グルメ

○そのままえだ豆 ○中札内田舎どり ○カマンベールチーズ ○想いやり生乳

### ■食関連工場等

○南十勝農産加工農業協同組合連合会 ○(株)十勝野フロマージュ

### ■観光名所

○札内川園地ピョウタンの滝 ○六花の森 ○中札内美術村 ○花畑牧場  
○中札内農村休暇村フェーリエンドルフ ○道の駅なかさつない

### ■イベント等

○やまべ放流祭 ○道の駅ガーデン ○花咲くコンサート ○収穫感謝祭

### ■その他

○ポプラ工業団地



鮮度抜群の「中札内枝豆」



「中札内農村休暇村フェーリエンドルフ」

# 更別村



## 【主な指標】

人口：3,208人  
(H30.3.31現在)  
面積：176.90km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：31.1億円 (H28)  
●農業産出額：106.8億円 (H27)  
●観光客入込数：47.4千人 (H29)

雄大な日高山脈が一望でき、緑の大地と十勝晴れの澄んだ青空がよく似合う広大な十勝平野の真ん中にある村です。

基幹産業は、機械化が進んだ国内最大規模の大型農業。また54ホールの公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」、管内最大級の大型遊具を備える農村公園などの施設や、冬には幻想的な「霧氷」が出現する美しいポイントがあり、全国から多くのカメラマンが訪れています。

### ■特産品・グルメ

○つぶつぶでんぷん ○ポテトチップス ○さらべつさんうどん ○金時甘納豆

### ■大学・試験研究機関等

○道立更別農業高校

### ■食関連工場等

○エア・ウォーター十勝食品(株) ○さらべつチーズ工房

### ■観光名所

○さらべつカントリーパーク (オートキャンプ場) ○どんぐり公園プラムカントリー (パークゴルフ場)  
○農村公園大型遊具 ○十勝スピードウェイ ○道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」

### ■イベント等

○ママチャリ耐久レース ○さらべつ大収穫祭

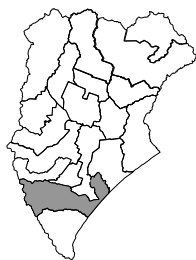


「十勝スピードウェイ」で開催される  
ママチャリ耐久レース



多くの子どもで賑わう「農村公園大型遊具」

# 大樹町



## 【主な指標】

人口：5,556人 (H30.3.31現在)	●製造品出荷額等：199.6億円 (H28)
面積：815.68km <sup>2</sup>	●農業産出額：138.5億円 (H27)
	●観光客入込数：54.3千人 (H29)
	●漁業生産高：9.4億円 (H28)

清流日本一に過去12度選ばれ、砂金掘りが楽しめることから宝の川と称される「歴舟川」が町内を流れています。町の東側太平洋沿岸には“海に見えるヨードの温泉～「晩成温泉」”があり、その周辺では夏は原生花園が広がり、冬はワカサギ釣りが楽しめます。カムイコタン公園周辺にはオートキャンプ場が整備されており、坂下仙境をはじめ景勝地が広がっています。

また、美成に整備されている「大樹町多目的航空公園」では航空宇宙関連実験が数多く行われており、「宇宙への玄関“大樹町”」を目指しています。

### ■特産品・グルメ

- ナチュラルチーズ ○ホエー豚 ○大樹納豆 ○じゅんさい ○秋鮭 ○ししゃも
- 毛がに ○大樹チーズサーモン丼

### ■大学・試験研究機関等

- 大樹町・大樹漁協さけますふ化施設 ○大樹航空宇宙実験場

### ■食関連工場等

- 雪印メグミルク(株)大樹工場 ○半田ファーム

### ■観光名所

- カムイコタン ○ホロカヤントー周辺 ○晩成温泉 ○蒨和山森林公園
- コスモスガーデン ○晩成社史跡

### ■イベント等

- 暦舟清流まつり ○柏林公園まつり ○砂金掘り探訪会 ○歴舟川清流鯉のぼり

### ■その他

- 川南工業団地

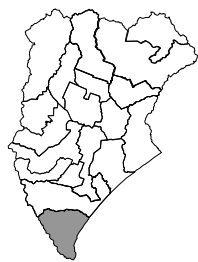


地元の生乳を使った美味しい「チーズ」



「大樹町多目的航空公園」

# 広尾町



## 【主な指標】

人口：6,914人  
(H30.3.31現在)  
面積：596.54km<sup>2</sup>

- 製造品出荷額等：117.2億円 (H28)
- 農業産出額：69.1億円 (H27)
- 観光客入込数：115.3千人 (H29)
- 漁業生産高：38.0億円 (H28)

豊かな自然環境に囲まれた十勝最南端のまち広尾町は、漁獲量日本一を誇る「シシヤモ」を筆頭に種類豊富な漁業資源に恵まれ、1年を通して新鮮な魚介を味わうことができます。ノルウェー・オスロ市から認定された「サンタランド」のまちとしても有名で、サンタメール事業など様々な活動を行っています。シンボルゾーンの「サンタの山」には、イルミネーションが点灯される10月からクリスマスにかけて大勢の観光客が訪れます。

また、十勝の海の玄関口である重要港湾「十勝港」は、「農業を支える港・アグリポート」として、これからも重要な役割を担っていきます。

### ■特産品・グルメ

- シシヤモ ○毛がに ○鮭 ○イクラ ○昆布

### ■大学・試験研究機関等

- 十勝釧路管内さけます増殖事業協会広尾収容場 ○広尾漁協さけますふ化施設楽古収容場

### ■食関連工場等

- とから飼料(株)

### ■観光名所

- サンタの山(大丸山森林公園)〈つつじ〉 ○サンタの家 ○フンベの滝(黄金道路)
- シーサイドパーク広尾(オハバナエルク) ○十勝神社(本通公園)〈桜〉

### ■イベント等

- 広尾つつじまつり ○十勝港まつり ○サンタランドツリー点灯式 ○広尾毛がにまつり

### ■その他

- 重要港湾「十勝港」 ○十勝港工業団地

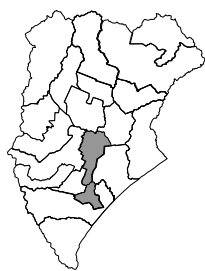


旬の海産物を提供「広尾毛がにまつり」



十勝の海の玄関「十勝港」

# 幕別町



## 【主な指標】

人口：26,840人  
(H30.3.31現在)  
面積：477.64km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：199.7億円(H28)  
●農業産出額：298.1億円(H27)  
●観光客入込数：668.9千人(H29)

パークゴルフ発祥の地として知られる幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併し、ナウマン象の化石骨が発掘された地としての魅力を加え、新たな一步を踏み出しました。十勝平野の中央部に位置し、その肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中、基幹産業である農業を中心に、今後も各産業がバランスよく発展する可能性と魅力に溢れるまちでもあります。

近年は平昌オリンピックで大活躍したスピードスケートの高木姉妹を始め、多くのアスリートを輩出するオリンピックの町としても知られています。

将来にわたり美しく豊かな、心の通うまちを目指すとともに住民と行政の協働によるまちづくりを実践し、「まくべつの躍進」に向けて取り組んでいます。

### ■特産品・グルメ

○十勝美豆(とかちビーンズ、大豆缶詰) ○十勝大福 ○黒豆きなこ ○食用ゆり根  
○和稔じょ ○インカのめざめ ○焼酎 ○どろぶた

### ■大学・試験研究機関等

○家畜改良事業団北海道産肉能力検定場 ○北海道さけますふ化施設幕別・札内収容場

### ■食関連工場等

○十勝大福本舗(株) ○道東ライス(株) ○小田壺(株) ○共栄ピクルス食品(有) ○大望(株)  
○トミイチ(株)十勝支店

### ■観光名所

○忠類ナウマン象記念館 ○シーニックカフェ ○ピラ・リ(明野ヶ丘公園) ○丸山展望台  
○道の駅(忠類) ○新田牧場 ○十勝ヒルズ ○千代田新水路魚道観察室(ととろ〜ど)

### ■イベント等

○忠類ナウマン全道そり大会 ○まくべつ夏フェスタ ○忠類ふるさと盆踊り大会  
○まくべつ産業まつり ○忠類どんとこいむら祭り

### ■その他

○リバーサイド幕別 ○札内東工業団地



新たな名産「和稔じょ」



幕別町発祥の「パークゴルフ」

# 池田町



## 【主な指標】

人口：6,818人  
(H30.3.31現在) ●製造品出荷額等：128.6億円(H28)  
●農業産出額：66.4億円(H27)  
面積：371.79km<sup>2</sup> ●観光客入込数：257.4千人(H29)

ブドウ栽培からこだわる「十勝ワイン」。ワインを中心とした町づくりを行う池田町は、「音・味・香るまちづくり」を展開する魅力あふれるまちです。小高い丘に建つワイン城では、優しく、分かりやすく、ワインの知識を提供するため「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。

また、ワイン城の敷地内には「DC Tgarden IKEDA」があります。ドリームズ・カム・トゥルーの吉田美和さんが「ふるさとに貢献したい」という思いを込めた施設で、コンサート衣装や資料、シアタースペースなどが設けられています。

### ■特産品・グルメ

○十勝ワイン ○十勝ブランデー ○いきがい焼き ○いけだ牛

### ■大学・試験研究機関等

○ブドウ・ブドウ酒研究所

### ■観光名所

○ワイン城 ○まきばの家 ○DC Tgarden IKEDA ○清見ヶ丘公園 ○千代田えん堤

### ■イベント等

○いけだ夏まつり ○秋のワイン祭り ○十勝ワインヌーボまつり

### ■その他

○池田北工業団地 ○利別第一農工団地 ○利別第二農工団地



「十勝ワイン」



「池田ワイン城」

# 豊頃町



## 【主な指標】

人口：3,152人 (H30.3.31現在)	●製造品出荷額等：3.2億円 (H28)
面積：536.71km <sup>2</sup>	●農業産出額：113.1億円 (H27)
	●観光客入込数：61.0千人 (H29)
	●漁業生産高：10.7億円 (H28)

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。二宮尊徳の孫の尊親が伝えた報徳のおしえを受け継ぐまちです。

まちの総合計画では、報徳のおしえ「至誠・勤労・分度・推譲」の四綱領を実践し、人と自然が調和した安らぎと温もりのあるまちづくりを進めています。また、産業では「十勝だいこん」「大津産秋鮭」をはじめ、収益性の高い魅力ある農林水産業を目指しています。

まちのシンボル樹齢140年の「はるにれ」は、2本の木が仲睦まじく支えあった美しい姿が魅力で、年間を通し観光に訪れる方が多い人気のスポットです。

また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを堪能できます。

### ■特産品・グルメ

○大津産秋鮭 ○わかさぎの佃煮 ○十勝だいこん ○なたね油「エコリーナ」

### ■食関連工場等

○株式会社エコERC豊頃工場

### ■観光名所

○はるにれの木（十勝川河川敷） ○長節湖 ○湧洞湖 ○茂岩山自然公園キャンプ場  
○茂岩山パークゴルフ場

### ■イベント等

○とよころ産業まつり ○とよころ夏まつり ○大津港大漁まつり

### ■その他

○豊頃地区工業団地

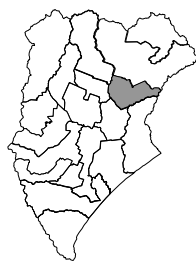


太切りでおいしい「切干大根」



豊頃町のシンボル「はるにれの木」

# 本別町



## 【主な指標】

人口：7,091人  
(H30.3.31現在) ●製造品出荷額等：339.2億円(H28)  
●農業産出額：91.9億円(H27)  
面積：391.91km<sup>2</sup> ●観光客入込数：478.5千人(H29)

十勝の東北部に位置し、利別川が街の中心を緩やかに流れる本別町は、十勝特有の大陸性気候で、夏と冬の寒暖差が大きく、一年を通じて降水量が比較的少ないのが特徴です。

この肥沃な大地と、恵まれた気候の中で育まれた特産品の豆は、良質・安全・安心な食材として出荷され、豆腐、みそ、しょうゆ、納豆などの加工品や健康食品としても注目されている黒豆は、「キレイマメ」のブランド名で全国に発信しています。

また、北海道横断自動車道の帯広・釧路・北見を結ぶジャンクションとなることから、高速道路を利活用したまちづくりの振興が期待されます。

### ■特産品・グルメ

○キレイマメ(豆製品ブランド) ○生豆 ○豆加工品 ○スイーツ ○砂糖 ○乳製品

### ■大学・試験研究機関等

○道立農業大学校

### ■食関連工場等

○北海道糖業(株)本別製糖所 ○(株)明治本別工場

### ■観光名所

○義経の里 本別公園・幽仙峡 ○愛のかけ橋(ライトアップ) ○ひまわり迷路  
○本別大坂(国道274号)から望む夜景 ○道の駅「ステラ★ほんべつ」

### ■イベント等

○本別山溪つつじ祭り ○本別きらめきタウンフェスティバル ○ひまわり迷路

### ■その他

○本別勇愛工業団地



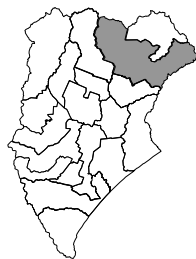
本別の豆を使ったブランド「キレイマメ」



本別道の駅「ステラ★本別」



# 足寄町



## 【主な指標】

人口：6,972人  
(H30.3.31現在)  
面積：1,408.04km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：32.8億円(H28)  
●農業産出額：92.1億円(H27)  
●観光客入込数：516.2千人(H29)

足寄町は十勝の東北部に位置し1,408.04km<sup>2</sup>の広い面積を有しています。この広大な大地では、東京ドーム約270個分の面積を持つ大規模草地育成牧場や、独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトー、高さ2～3mにもなる螺湾ブキなど、豊かな自然が育まれています。

また、平成20年には開町100年という節目を迎えました。先人から継承した緑豊かな大地という貴重な財産を後世に継承しながら、町民全てが心穏やかな毎日をごせるよう、人と自然にやさしい地域社会を考えて様々な事業が推進され、活力ある街の基盤が整えられています。子どもも大人も、そしてお年寄りも、全ての人々が「この町に住んでいてよかった」「この町に生まれてよかった」と思える、ふれあいのあるまちづくりが進められています。

### ■特産品・グルメ

○螺湾(らわん)ブキ ○ナチュラルチーズ ○馬肉 ○豆類 ○木質ペレット

### ■大学・試験研究機関等

○九州大学農学部附属北海道演習林

### ■食関連工場等

○(株)あしよろ農産公社

### ■観光名所

○オンネトー ○雌阿寒岳 ○足寄動物化石博物館 ○あしよろ銀河ホール21(道の駅)

### ■イベント等

○足寄ふるさと花まつり ○足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会 ○道の駅まつり

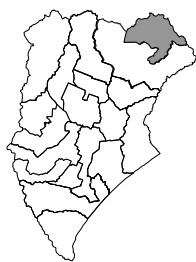


北海道遺産にも指定「ラワンブキ」



神秘の湖「オンネトー」

# 陸別町



## 【主な指標】

人口：2,394人 ●製造品出荷額等：9.7億円（H28）  
（H30.3.31現在） ●農業産出額：48.0億円（H27）  
面積：608.90km<sup>2</sup> ●観光客入込数：178.6千人（H29）

陸別町は豊かな自然に恵まれた林業と酪農の町です。

また、「寒さ」や「星」をテーマとしたまちづくりに力を入れています。

日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関する特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、平成18年に廃線となったふるさと銀河線を体験鉄道公園として復活させた「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として注目を集めています。

### ■特産品・グルメ

○山菜（山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他） ○エゾ鹿肉製品 ○スイーツ ○陸別産牛乳

### ■大学・試験研究機関等

○国立環境研究所 ○名古屋大学宇宙地球環境研究所

### ■観光名所

○ふるさと銀河線りくべつ鉄道 ○銀河の森天文台 ○銀河の森コテージ村

### ■イベント等

○しばれフェスティバル ○オフロードレース ○ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり



美味しい山の幸「山菜」



「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」

# 浦幌町



## 【主な指標】

人口：4,810人  
(H30.3.31現在)

面積：729.85km<sup>2</sup>

●製造品出荷額等：153.0億円(H28)

●農業産出額：90.5億円(H27)

●観光客入込数：252.0千人(H29)

●漁業生産高：8.1億円(H28)

十勝管内の最東端にあり、帯広市と釧路市のほぼ中間に位置しています。面積は、729.85km<sup>2</sup>と広大な面積を有し、その74.2%が森林という雄大な自然と、海産資源が豊富な太平洋に面した町です。

雄大に広がる太平洋の海、豊かな山々、十勝らしい畑作風景など、北海道をイメージする雄大な自然、そのすべてが浦幌町にはあります。

道内トップクラスの強アルカリ性(pH10.0)の泉質を持つ「うらほろ留真温泉」は、美肌によい良質な温泉として評判です。

### ■特産品・グルメ

- ギョウジャニンニクドリンク ○ギョウジャニンニク入りポークソーセージ
- 雪室ばれいしょ ○鮭とば ○rosarugosa (ハマナスオーガニックコスメ)

### ■食関連工場等

- 東部十勝農産加工農業協同組合連合会 ○十勝浦幌森永乳業(株) ○サンマルコ食品(株)
- 浦幌フリーズドライ(株)

### ■観光名所

- うらほろ森林公園 ○昆布刈石展望台 ○豊北原生花園 ○道の駅「うらほろ」
- うらほろ留真温泉

### ■イベント等

- ふるさとのみのりまつり ○うらほろ物産フェア



「ふるさとのみのりまつり」



町営温泉「うらほろ留真温泉」

## (2) 関係団体・機関一覧

区分	名称	所在地
大学	国立大学法人帯広畜産大学	帯広市稲田町西2線11番地
	帯広大谷短期大学	音更町希望が丘3番地3
試験研究等機関	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 芽室研究拠点	芽室町字新生南9線4
	独立行政法人種苗管理センター十勝農場	帯広市幸福町東4線210-6
	独立行政法人家畜改良センター十勝牧場	音更町駒場並木8番1
	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場	芽室町字新生南9線2番地
	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場	新得町字新得西5線39番地1
	公益財団法人とかち財団 ・北海道立十勝圏地域食品加工技術センター ・十勝産業振興センター	帯広市西22条北2丁目23-10 帯広市西22条北2丁目23-9
	独立行政法人国際協力機構北海道国際センター(帯広)	帯広市西20条南6丁目1-2
農業教育・研修機関	北海道立農業大学校	本別町西仙美里25-1
	北海道帯広農業高等学校	帯広市稲田町西1線9番地
	北海道音更高等学校	音更町駒場西1番地
	北海道土幌高等学校	土幌町字上音更21-15
	北海道更別農業高等学校	更別村字更別基線95番地
農業協同組合	帯広市川西農業協同組合	帯広市川西町西2線61
	帯広大正農業協同組合	帯広市大正本町東1条2丁目1
	音更町農業協同組合	音更町大通5丁目1番地
	木野農業協同組合	音更町木野大通西6丁目1番地
	土幌町農業協同組合	土幌町字土幌西2線159番地
	上土幌町農業協同組合	上土幌町字上土幌東2線238番地
	鹿追町農業協同組合	鹿追町新町4丁目51番地
	新得町農業協同組合	新得町1条南3丁目1番地
	十勝清水町農業協同組合	清水町南2条1丁目8番地
	芽室町農業協同組合	芽室町西4条南1丁目1番地9
	中札内村農業協同組合	中札内村東1条南2丁目14番地
	更別村農業協同組合	更別村字更別南2線92番地
	大樹町農業協同組合	大樹町西本通33番地2
	広尾町農業協同組合	広尾町字紋別19線51番地20
	幕別町農業協同組合	幕別町本町45番地
	札内農業協同組合	幕別町札内中央町467番地
	忠類農業協同組合	幕別町忠類栄町259番地
	十勝池田町農業協同組合	池田町字利別本町1番地
	十勝高島農業協同組合	池田町字高島7番地
	豊頃町農業協同組合	豊頃町中央若葉町12
	浦幌町農業協同組合	浦幌町字新町15番地1
	本別町農業協同組合	本別町北5丁目2番地1
	足寄町農業協同組合	足寄町南3条1丁目18番地
	陸別町農業協同組合	陸別町字陸別東2条1丁目1番地
	十勝畜産農業協同組合	幕別町相川470-2
	十勝軽種馬農業協同組合	幕別町字猿別207-1
農業団体等	十勝地区農業協同組合長会	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル
	北海道農業協同組合中央会帯広支所	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル4F
	北海道信用農業協同組合連合会帯広支所	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル1F
	ホクレン農業協同組合連合会帯広支所	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル2F
	全国共済農業協同組合連合会北海道事業本部帯広支所	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル1F
	北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院	帯広市西6条南8丁目1番地
	北海道農業共済組合連合会道東事業部	札幌市中央区北1条西7丁目
	十勝農業協同組合連合会	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル3F
	北海道農業開発公社十勝支所	帯広市西3条南7丁目14農協連ビル
	北海道農業開発公社十勝育成牧場	大樹町尾田708
	農協サイロ㈱	帯広市西2条南7丁目17ハヤカワビル内
	農業情報センター	十勝農協連農業情報センター 帯広市東2条南10丁目2

区 分	名 称	所 在 地
家畜改良	(社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所	清水町字御影南 2 線 73 番 10
	(社)家畜改良事業団北海道産肉能力検定場	幕別町字猿別 173-8
製糖工場	日本甜菜製糖(株)芽室製糖所	芽室町東芽室基線 26 番地
	北海道糖業(株)本別製糖所	本別町勇足 52 番地
	ホクレン清水製糖工場	清水町字清水第 1 線 71 番地 1
乳業工場	よつ葉乳業(株)十勝主管工場 (おいしさまっすぐ館)	音更町新通 20 丁目 3 番地
	雪印メグミルク(株)大樹工場	大樹町緑町 35
	(株)明治十勝工場(明治なるほどファクトリー十勝)	芽室町東芽室北 1 線 15-2
	(株)明治十勝帯広工場	帯広市東 6 条南 16 丁目 3
	(株)明治本別工場	本別町新町 1 丁目
	十勝浦幌森永乳業(株)	浦幌町材木町 1
研究所等	十勝農協連農産化学研究所	帯広市西 24 条北 1 丁目 1-7
	日本甜菜製糖(株)総合研究所	帯広市稲田町南 9 線西 13
	JA 全農 ET 研究所	上士幌町字上音更西 6 線 331-11
でん粉工場	南十勝農産加工農業協同組合連合会	中札内村中札内西 2 線 230-3
	東部十勝農産加工農業協同組合連合会	浦幌町吉野 68 番地
	士幌町農業協同組合澱粉工場	士幌町字士幌西 2 線 160 番地
と畜場	(株)北海道畜産公社道東事業所十勝工場	帯広市西 24 条北 2 丁目 1 番地 1
	池田町食肉センター	池田町字清美 277-2
肥料工場	ホクレン肥料(株)帯広工場	芽室町東芽室基線 12 番地 1
飼料工場	ホクレンくみあい飼料(株)十勝工場	士幌町字士幌西 1 線 147 番地 1
	日本甜菜製糖(株)帯広配合飼料工場	帯広市稲田町南 9 線西 13 番地
酪農検定検査協会	(株)北海道酪農検定検査協会帯広事務所	帯広市西 14 条南 6 丁目 1 番地 1
漁業協同組合	十勝管内漁業協同組合長会	豊頃町大津港町 35 番地
	広尾漁業協同組合	広尾町会所前 2 丁目 79 番地
	大樹漁業協同組合	大樹町浜大樹 322 番地先
	大津漁業協同組合	豊頃町大津港町 35 番地
森林組合等	十勝地区森林組合振興会	帯広市西 4 条南 16 丁目 10 番地 1
	西十勝森林組合	新得町字屈足基線 1 番地 9
	清水町森林組合	清水町字御影南 1 線 49 番地 4
	更別森林組合	更別村字更別南 2 線 91 番地 4
	大樹町森林組合	大樹町字下大樹 225 番地
	広尾町森林組合	広尾町西 2 条 6 丁目 16 番地
	幕別町森林組合	幕別町宝町 53 番地 1
	本別町森林組合	本別町新町 22 番地 7
	足寄町森林組合	足寄町南 5 条 5 丁目 14 番地
	陸別町森林組合	陸別町字陸別本通 2 丁目 5 番 2
	浦幌町森林組合	浦幌町字帯富 98 番地 9
十勝大雪森林組合	音更町東通 15 丁目 5 番地	
十勝広域森林組合	芽室町東 2 条 6 丁目 1 番地 5	
商工会議所	帯広商工会議所	帯広市西 3 条南 9 丁目 1 経済センタービル 5F
商工会 観光・物産協会等	北海道十勝管内商工会連合会	帯広市西 3 条南 9 丁目 1 経済センタービル 3F
	音更町商工会	音更町大通り 6 丁目 6 番地
	士幌町商工会	士幌町士幌西 2 線 162
	上士幌町商工会	上士幌町字上士幌東 3 線 237 番地
	鹿追町商工会	鹿追町新町 1 丁目 43 番地
	新得町商工会	新得町本通南 1 丁目 23 番地
	清水町商工会	清水町本通 1 丁目 1 番地 2
	芽室町商工会	芽室町本通 1 丁目 19 番地
	中札内村商工会	中札内村大通南 2 丁目 24 番地
	更別村商工会	更別村字更別南 1 線 91 番地 21
	大樹町商工会	大樹町西本通 98 番地
	広尾町商工会	広尾町本通 5 丁目 1
	幕別町商工会	幕別町錦町 141 番地 19
	池田町商工会	池田町大通 1 丁目 35 番地

区 分	名 称	所 在 地
商工会 観光・物産協会等	豊頃町商工会	豊頃町茂岩本町 135 番地
	本別町商工会	本別町北 1 丁目 4 番地 19
	足寄町商工会	足寄町南 1 条 3 丁目 20
	陸別町商工会	陸別町字陸別原野基線 69 番地 1
	浦幌町商工会	浦幌町本町 100 番地
	十勝観光連盟	帯広市西 2 条南 12 丁目 JR 帯広駅エスタ東館 2F
	帯広観光コンベンション協会	帯広市西 2 条南 12 丁目 JR 帯広駅エスタ東館 2F
	帯広物産協会	帯広市西 2 条南 12 丁目 JR 帯広駅エスタ東館 2F
	音更町十勝川温泉観光協会	音更町十勝川温泉南 12 丁目 1 番地
	音更町物産協会	音更町元町 2 番地
	士幌町観光協会	士幌町字士幌 225 番地
	上士幌町観光協会	上士幌町字上士幌東 3 線 238 番地
	鹿追町観光協会	鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1
	新得町観光協会	新得町 3 条南 4 丁目 26 番地
	清水町観光協会	清水町南 4 条 2 丁目 2 番地
	芽室町観光物産協会	芽室町本通 2 丁目 10 番地 1
	中札内村観光協会	中札内村大通南 7 丁目 14 番地
	更別村観光協会	更別村字更別 189 番地 1
	大樹町観光協会	大樹町東本通 33 番地
	広尾町観光協会	広尾町西 4 条 7 丁目 1 番地 1
	幕別町観光物産協会	幕別町本町 130 番地
	池田町観光協会	池田町字清見 83 (ワイン城内)
	豊頃町観光協会	豊頃町茂岩本町 125 番地
	本別町観光協会	本別町北 2 丁目 4 番地 1
	NPO法人あしよろ観光協会	足寄町北 1 条 1 丁目 3 番地
	陸別町観光協会	陸別町東 1 条 3 丁目 1 番地
浦幌町観光協会	浦幌町桜町 15 番地 6	
中小企業団体等	北海道中小企業家同友会とかち支部	帯広市東 2 条南 5 丁目 1 番地
	北海道中小企業団体中央会十勝支部	帯広市西 3 条南 9 丁目帯広経済センター
	北海道中小企業総合支援センター十勝支部	帯広市西 3 条南 9 丁目 1 帯広商工会議所内
	社団法人帯広法人会	帯広市西 3 条南 9 丁目 2 番地セントラル十勝ビル 8F
金融機関等	帯広銀行協会	帯広市西 2 条南 12-1JR 帯広駅北口ビル 3 階
	北洋銀行帯広中央支店	帯広市西 2 条南 12-1
	みずほ銀行帯広支店	帯広市西 2 条南 10 丁目 17-1
	北陸銀行帯広支店	帯広市大通南 8 丁目 18
	北海道銀行帯広支店	帯広市西 3 条南 9 丁目 1 番地
	帯広信用金庫	帯広市西 3 条南 7 丁目 2
	北見信用金庫帯広支店	帯広市西 2 条南 7 丁目 2 番地
	釧路信用金庫帯広支店	帯広市西 8 条南 18 丁目 2 番 6 号
	網走信用金庫帯広支店	帯広市西 5 条南 14 丁目 4 番地 1
	商工中金帯広支店	帯広市西 3 条南 6 丁目 20 番地 1
	北海道信用保証協会帯広支店	帯広市西 3 条南 6 丁目 18 番地 2
	十勝信用組合	帯広市大通南 9 丁目 18・20 番地
	株式会社日本政策金融公庫帯広支店	帯広市大通南 9 丁目 4 (帯広大通ビル)
農林水産省	北海道農政事務所帯広地域拠点	帯広市西 6 条南 7 丁目 3 帯広地方合同庁舎
国土交通省	帯広開発建設部	帯広市西 5 条南 8 丁目
	帯広農業事務所	帯広市西 5 条南 8 丁目
	鹿追地域農業開発事業所	鹿追町泉町 1 丁目
北海道	十勝総合振興局	帯広市東 3 条南 3 丁目 十勝合同庁舎
市町村	十勝町村会	帯広市東 3 条南 3 丁目 十勝合同庁舎
	音更町	音更町元町 2 番地
	士幌町	士幌町字士幌 225 番地
	上士幌町	上士幌町字上士幌東 3 線 238 番地
	鹿追町	鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1
	新得町	新得町 3 条南 4 丁目 26 番地

区 分	名 称	所 在 地
市町村	清水町	清水町南4条2丁目2番地
	芽室町	芽室町東2条2丁目14番地
	中札内村	中札内村大通南2丁目3番地
	更別村	更別村字更別南1線93番地
	大樹町	大樹町東本通33番地
	広尾町	広尾町西4条7丁目1
	幕別町	幕別町本町130番地1
	池田町	池田町西1条7丁目11番地
	豊頃町	豊頃町茂岩本町125番地
	本別町	本別町北2丁目4番地1
	足寄町	足寄町北1条4丁目48番地1
	陸別町	陸別町字陸別東1条3丁目1番地
	浦幌町	浦幌町字桜町15番地6
	帯広市	帯広市西5条南7丁目1番地

出典：「2018 十勝の農業」、十勝総合振興局ホームページほか